

横浜市教育委員会  
臨時会会議録

- 1 日 時 令和元年8月23日（金）午後2時00分
- 2 場 所 教育委員会会議室
- 3 出席者 鯉渕教育長 大場委員 間野委員 宮内委員 中村委員 森委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

# 教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

令和元年8月23日（金）午後2時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項  
令和元年度「横浜子ども会議」の開催について
- 3 審議案件  
教委第19号議案 「平成30年度実績 横浜市教育委員会点検・評価報告書」について  
教委第20号議案 令和元年度一般会計予算案（9月補正）に関する意見の申出について  
教委第21号議案 教職員の人事について  
教委第22号議案 教職員の人事について
- 4 その他

[開会時刻：午後2時00分]

鯉渕教育長

それでは、ただいまから、教育委員会臨時会を開会いたします。  
初めに、会議録の承認を行います。7月22日の会議録の署名者は間野委員と中村委員です。会議録につきましては、既にお手元に送付してございますが、字句の訂正を除き、承認してよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉渕教育長

それでは、承認いたします。字句の訂正がございましたら、後ほど事務局までお伝えください。

なお、8月1日の教育委員会定例会の会議録につきましては、準備中のため、次回以降に承認することといたします。

次に、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

小椋教育次長

### 【一般報告】

#### 1 市会関係

教育次長の小椋です。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、前回の教育委員会定例会から本日までの間の報告事項はございません。

#### 2 市教委関係

##### (1) 主な会議等

○8/19、21 第39回 横浜市中学生英語祭

○8/23 第53回 横浜市立小学校水泳大会

##### (2) 報告事項

○令和元年度「横浜子ども会議」の開催について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、8月19日、8月21日に、第39回横浜市中学生英語祭English Festivalが開催され、鯉渕教育長と中村委員が21日に出席されました。両日合わせて114人の生徒が参加し、生徒2人に1人のAETと恵まれた環境の中で、中学生が一日英語漬けの体験学習を行いました。

本日8月23日には、2016年リオデジャネイロオリンピック水泳日本代表の五十嵐千尋さんをゲストにお迎えし、第53回横浜市立小学校水泳大会が横浜国際プールで行われており、午前中の開会式では、鯉渕教育長が挨拶を行っております。

次に、報告事項として、この後、所管課から令和元年度「横浜子ども会議」の開催について、報告させていただきます。

私からの報告は以上です。

鯉渕教育長

報告が終了しましたが、何か御質問等ございますか。

中村委員

今の御報告にもございましたが、English Festivalに21日の午前中、参加させ

ていただきました。21日は80名ほどの中学生が参加していましたが、お話にありましたように、2人、3人にAETの方がつくというような環境の中で、スタッフの自己紹介が終わった後、各教室に分かれて、その中でまたグループ活動が行われました。最初に自己紹介をした後、簡単なゲームがあり、その後、例えばアルファベットの中から母音を2つ、子音を6つ選んで、それでどんな単語ができるかということをゲーム的にやっていました。見ていてかなり難しいなと思っていたのですが、グループによっては100以上も考えるグループがあって、本当に驚きました。見ていると英語が得意な中学生ばかりではなかったようにも見受けられましたが、AETとかほかの学校の生徒とか、お互いにコミュニケーションを楽しみながらいい活動ができていたなと思いました。

その中で、今年度は120人ほどの参加ということでしたが、全て希望者ということでしたので、これからものすごく増えていったときにはまた難しいかもしれませんが、できるだけ希望した生徒さんが全て参加できるように、この会を続けていってほしいなと思いました。

それから、小学校のほうでは英語村という活動をしていますけれども、中学校でも集まってくる生徒さんだけではなく、学校全体では難しいかもしれませんが、学年対象として中学校に出向いて行うということもできないのかなと思いました。

AETの方ですとか指導主事の方ですとか校長先生ですとかの表現力が非常に豊かで、見ている私も思わず笑いがこぼれてしまうような、非常に楽しい表現をされていました。小学校の先生方も改めて研修ということではなく、こういう場で御覧になることで、こんな話し方をするといいんだとか、こういう活動を組み入れればいいんだとかいうことで、参考になるのではないかななどという感想も持ちました。以上です。

鯉淵教育長

ほかにいかがでしょうか。特になければ、次の令和元年度「横浜子ども会議」の開催について、所管課から御報告いたします。

前田人権健康  
教育部長

人権健康教育部の前田でございます。平成25年度から取り組んでおります「横浜子ども会議」につきまして、今年度も各区で交流会という形で実施いたします。詳細につきましては、所管の課長の三嶽より報告いたします。

三嶽人権教育・  
児童生徒  
課長

人権教育・児童生徒課長の三嶽です。よろしくお願いたします。A4判の資料を用意しておりますので、御覧ください。「横浜子ども会議」につきましては、子供たちが主体となっていじめの未然防止に対する取組を行うということで、全市立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の児童・生徒が主体となりまして、年間を通じて行う活動として位置付けております。各学校、または小中一貫教育推進ブロックで「だれもが安心して生活できるよう、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会」を目指しての話し合い等を含めた具体的な取組を進めております。

1番の「テーマと流れ」を御覧いただきますと、今年度のテーマが出ております。これは昨年度と同じになりますけれども、「だれにとっても居心地のよい学校づくり」ということを全校・全ブロックのテーマとしまして、5月から8月にかけてそれぞれのブロックを中心に話し合い活動等を含めて進めてきております。

今年度の特徴的な部分としましては、中学校ブロックでの取組ということがだいぶ定着してきておりまして、中にはいろいろな工夫ですとか充実している姿が

見えつつあるということが報告されております。また、ブロックによりましては、地域の方々を招いたり、または警察、区役所等との連携をしながら活動を進めるというようなところも出てきております。また、今年が初めてになります。特別支援学校につきまして、その所在地にある中学校ブロックと一緒に参加して活動するというようなことも始まってきております。この辺が今年の発表の中で出てくると考えております。

真ん中の大きなところになりますけれども、横浜子ども会議の区交流会ということで、ここまで取り組んできたことをそれぞれ区の中で交流し合っ、またその先に向けて意見交換を進めていくということを来週行う予定にしております。

では、裏面を御覧ください。3番に日程・会場を載せてあります。8月27日、来週の火曜日から30日までの4日間をかねまして、18区、区役所等を中心とした会場です。それぞれ実施する予定になっております。これにつきましては、区の交流ということで、各校から1名ずつの参加という形にはなりますが、それぞれの実践報告を交換し合いながら、これからの活動に生かしていくことを進めるための会議としていきたいと考えております。特徴的な発表につきましては、この後12月にいじめ防止市民フォーラム、2月に全国のいじめ防止サミットがございます。こちらのほうでこの発表を生かしていくというような形を取って進めていく予定にしております。委員の先生方も、もしもお時間が取れるようでしたら、御覧いただけたらと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

鯉淵教育長

説明が終了いたしました。何か御意見・御質問等がございますか。

大場委員

毎年御苦勞様です。私も来週、また行かせていただきます。今、会場一覧を見てちょっと感じたのは、港北警察の会場を借りるということで、いじめの問題も念頭にありつつ、何も区役所の会議室だけでなく、警察に子供たちも一度入ってみる、警察の講堂で会議をするということも一つ貴重な体験だろうと思います。それから、警察の人にも参加してもらったり、さっきお話にあったとおり、地域の人にも参加してもらおうという、一つそういう方向性もまた今回加えていただくので、一定の効果が出てきてくれるのではないかなという気がします。

来週また別の学校に行かせてもらうのは、夏休み中、14～15回にわたって地域の方が子ども食堂ということで、夏休み期間中の子供たちの食の確保ということと、2学期に向けてサポートしていこうということで力を入れてくれているし、いろいろな地域の人があるので、やはりこれをぜひ子ども会議にも絡めて、また推進して行ってほしいなと感じました。意見だけです。

鯉淵教育長

ほかに何か御意見・御質問等がございますか。

森委員

私も昨年度参加しまして、非常に活発な議論があつて、感心したのを覚えております。今年も開催されるということで、今の資料を見ていて思ったのですが、裏面に小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校と書いてありまして、特別支援学校については「参加を希望する学校より生徒1～2名程度」と書いてありますけれども、これは毎年参加があるのですか。

三嶽 人権教育・児童生徒課長

基本的には参加していただいておりますが、それぞれの学校の事情がありますのでということです。区交流会自体は、区の交流としては今年度2回目ということになりますので、これからは入ってくる形になっていくと思います。ただ、先ほども話しましたように、中学校ブロックの中で一緒に話し合っていることもあ

りますので、発表も一緒の形態になってくるということが今後は想定されることかと考えます。

森委員

ありがとうございます。参加そのものもそうですが、話し合いの参加のしやすさですとか発言のしやすさというところではどんな工夫をされていくのかということもまたぜひ御報告いただけたらなと思っております。

あと、地域との連携もということが今、大場委員からありました。先ほど区と警察という連携先の名前が挙がっておりましたけれども、もし具体的にこういった連携がありますということがありましたら教えていただけますでしょうか。

三嶽人権教育・児童生徒課長

青葉区のある小学校では、子供たちによる児童いじめ防止委員会がありまして、定期的開催されています。そこに地域の方も一緒に入っていたり、警察の方が一緒に入って、アドバイスをいただくというようなことをしているところもあります。それから、南区で今年取り組んでおりますのは、SNSのトラブル等を含めた使い方やルールづくりを、区をあげて、区役所と地域と警察で連携を図って、各中学校も一緒になって進めています。このようなところが特徴のあるところかなと考えます。

森委員

ありがとうございます。

鯉淵教育長

ほかにございますでしょうか。

間野委員

令和元年度のテーマ「だれにとっても居心地のよい学校づくり」とありますが、本当にこういう学校を作らなければいけないと思っております。このときの「だれにとっても」ということで、実際に今、不登校が横浜だけで5,000人いる訳です。子供たちとか保護者の方々のことを思うと、本当に胸が痛みます。学校で人手が足りないという実情はよく分かりますが、5,000人というのは横浜は児童生徒の数が多いからですけれども、非常に大きな問題なのではないかと思っております。来られない子は多分居心地が悪いのかもしれないし、理由は様々だと思いますが、そういう対策も、例えば子供と一緒に考えてみるとか、個別にそれぞれのいろいろな理由が複雑に絡んでいるのだと思いますが、学校に来られない子供たちへの対策ということももっと本格的に考えていかなければいけないのかなと思いました。以上です。

鯉淵教育長

ほかによろしいでしょうか。

宮内委員

今、不登校の問題について間野委員から指摘がありました。私は不登校というのを一つのカテゴリーで考えることは誤りだと思っております。無理して学校に来させるというのは私たちの仕事ではありません。学校に来たくないけれども家でそれなりの社会との接点を持てる可能性もありますし、またそのほうがその子の個性に合っている場合もあります。話せばきりがありませんが、児童生徒の個性の多様性に応じたメニューをできるだけそろえるというのが行政の仕事だろうと考えてます。不登校の児童生徒に対する通信教育の手法を研究している事例等がありますので、ぜひ広い視野で検討していただきたいと考えております。

話は変わりますが、警察で会議を行うという案はとてもいいことだろうと思います。実際に起きているいじめには、犯罪に近いものが非常に多いと思います。ところが、子供の行為だから、未成年の行為だからということで、私たちはつい

犯罪ではないという処理の仕方をしてしまいます。しかし、犯罪の芽である可能性は十分にあります。ということで、ささいなことでも人を傷つけたり、これは肉体的に傷つけるということだけではなく精神的に傷つけるということもですが、これが犯罪なのだということを児童生徒が認識するために警察で行うということはシンボリックな試みとしていいと思います。これは厳罰主義とか警察国家を作るとかというようなことを申し上げているのではなくて、全く逆で、市民のため、警察に積極的に防犯に関わっていただくという教育関係者からの強いメッセージにもなると思います。今回のこの試みは非常によろしいかなと考えております。

前田人権健康  
教育部長

御意見ありがとうございます。不登校のことにつきましては、しっかりと向き合って、子供の困り感ですとか多様なニーズにしっかりと応じるような施策に取り組んでまいりたいと思っております。今お話が出ています、裏面にあります港北区の部分ですが、こちらは経年で非行防止サミットと連携して実施しております、こちらのほうは特に学警連（学校警察・連絡協議会）、警察との絡みで共有しながら子ども会議も行っております。これまでの中では地域の方ですとか民生・主任児童委員の方ですとか防犯に関わる方々も参加されて、子供たちのいじめに関わる話についてもフィッシュボールのような形で見ていただいて、御意見をいただくような姿も見られます。大事な活動として取り組んでまいりたいなと思っております。以上でございます。

鯉淵教育長

中村委員。

中村委員

昨年度の子ども会議に出席させていただいたときに、ある中学生が「だれにとっても」というのは、言葉で言うのは簡単だけれども実はとても難しいことだということを話していたのが印象に残っています。だからこそ、「だれにとっても」ということを目指して私たちは頑張っていかなければいけないというお話をしていたのですが、来週から学校が始まります。それに当たって、もしかしたら今も学校へ行きたくないとかちょっと憂うつだなどと思っている子供もいるのかもしれないと思うと、やはり「だれにとっても居心地のよい学校づくり」というテーマの重みをとっても感じます。

先ほど御説明がありましたように、年間を通じて行うということにとっても意味があると思います。それから、小中ブロックがカリキュラム編成だけではなく、こういう中でも実にスムーズに交流が行われているなという印象を昨年度は持ちました。ですから、本当に打ち上げ花火的にやりましたということではなく、これがしっかり根づいていることがとても大事だなと思いますので、今年度もまた子供たちがどのようなことを考え、またどのようなことを実際に行動に移そうとして、あるいは行動に移しているのかということをしっかり見て、聞いていきたいなと思います。以上です。

鯉淵教育長

ほかによろしいでしょうか。

それでは、次に議事日程に従い、審議案件に移ります。

まず、会議の非公開について、お諮りします。教委第19号議案「『平成30年度実績 横浜市教育委員会点検・評価報告書』について」は、市会への報告案件であるため、教委第20号議案「令和元年度一般会計予算案（9月補正）に関する意見の申出について」は、議会の審議案件のため、教委第21号議案「教職員の人事について」、教委第22号議案「教職員の人事について」は、人事案件のため、非

公開としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

鯉渕教育長

それでは、教委第19号議案から教委第22号議案は、非公開といたします。審議に入る前に、事務局から、報告をお願いします。

齊藤総務課長

8月22日に1団体から、神奈川朝鮮学園に対する補助金支給の再開を求める要望書が提出されました。こちらの要望書につきましては、事務局で対応を調整の上、教育委員会で審議が必要な場合は、次回以降にお諮りしたいと思います。委員の皆様は、内容の御確認をお願いいたします。

次回の教育委員会定例会は、9月10日火曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会臨時会は、9月24日火曜日の午前10時から開催する予定です。

鯉渕教育長

皆様、よろしいでしょうか。次回の教育委員会定例会は、9月10日火曜日の午前10時から開催する予定です。また、次々回につきましては、9月24日火曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知いたしますので御確認ください。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

<非公開案件審議>

教委第19号議案「『平成30年度実績 横浜市教育委員会点検・評価報告書』について」

(原案のとおり承認)

教委第20号議案「令和元年度一般会計予算案（9月補正）に関する意見の申出について」

(原案のとおり承認)

教委第21号議案「教職員の人事について」

(原案のとおり承認)

教委第22号議案「教職員の人事について」

(原案のとおり承認)

鯉渕教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会臨時会を閉会といたします。

[閉会時刻：午後3時14分]